

秋の叙勲・褒章受章者のご紹介



野口 政則 氏

瑞宝双光章

野口政則氏(大字皆野)は、昭和46年4月に秩父消防本部消防士を拝命後、数々の要職を経て平成20年4月に秩父消防本部警防課長、平成22年4月には秩父消防署長として平成25年3月に退職するまで42年の永きにわたり消防職員として活躍されました。

この間、常に率先して住民の生命、身体および財産を保護するという消防の使命感に燃え、秩父地域の安全確保に尽力されました。



浅見 定男 氏

瑞宝双光章

浅見定男氏(大字金崎)は、公立中学校教諭、公立小学校長、公立中学校長などを歴任し、38年の永きにわたり学校教育の振興と充実に尽くされました。退職後も、地域非行防止ネットワーク推進員として児童・生徒の健全育成に貢献するほか、皆野町教育委員会社会教育委員長として、社会教育の振興と発展に大きく貢献されました。

こうした功績が評価され、今回の受章となりました。



豊田 哲也 氏

藍綬褒章

豊田哲也氏(大字皆野)は、昭和60年に皆野町消防団員を拝命し、平成26年に副団長、平成30年に団長に就任されました。

団長として、常に率先して防衛活動にあたり、的確な指揮能力を発揮して火災被害の軽減に努められました。また、消防団の改善や発展、施設の整備拡充に尽力されました。

さらに、火災予防の啓蒙普及や夜間警備による予防活動の強化徹底にも努められました。

33年の永きにわたるこれらの功績が認められ、このたびの受章となりました。



成島 善市 氏

瑞宝单光章

成島善市氏(大字上日野沢)は、昭和50年に皆野町消防団員を拝命し、平成17年に第3分団長、平成22年に副団長に就任し、平成29年3月に退団されました。

41年10か月の永きにわたり職務に忠実、任務に精励し消防団の改善発展、施設の整備拡大に尽力されました。

さらに、無火災達成のため火災予防の啓蒙普及、徹底に努めた功績が認められ、このたびの受章となりました。